

2018年度 事業所における自己評価表の公表 事業所名 児童発達支援マルコ			《集計表》		
	チェック項目	取組状況・改善目標	はい	どちらとも いえなし	いいえ
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	適切ではあるが、長期休暇時は放課後等デイサービスの利用児童と活動するため、安全面での配慮し空間を使い分けるように工夫しています。	9		
	2 指導員の配置数は適切であるか	配置基準より多くの職員を配置しており、マンツーマンから利用児童数より1名少ないくらいの配置となっています。長期休暇時は、小学生から高校生までの児童と一緒に活動するので、事故・怪我がないように配慮していますが、更にきめ細かな対応ができるよう努めていきたいと思います。	9		
	3 常時見守り等が必要な子どもが利用する場合には通常より多い指導員配置がなされているか	常時、ほぼマンツーマンの配置で関わられるようにしていますが、長期休暇時などは広い範囲で見守りを要す状況があるため、補助員の方を採用し見守り等を強化するようにしています。	9		
	4 指導訓練室内は個々の子どもの状態に配慮した環境整備が行われているか	その都度出来る限りの配慮は行っているが、個々の区切られたスペースがが少ないため工夫しながら活用しています。。	8		1
	5 事業所内の安全対策及び衛生管理は適切になされているか	衛生管理や安全対策については常時点検するようにしていますが、「つもり」になり見落としが無いよう管理に努めていきたいと思います。クールダウン室のカーペット老朽化しているので購入を検討しています。	8		1
業務改善	6 業務改善を進める為のPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	時間差出勤があり開所時間内で全員が揃い話すことが難しい状況がありますが、開所時間外で会議を行うことで話す時間をつくっています。	8	1	
	7 保護者向け評価表、アンケートなどを利用して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	昨年より実施し、できるところから少しずつ改善を行っていますが、保護者の皆様への業務の取り組みや改善についての周知がまだよくできていないと感じています。努力していきたいと思います。	8	1	
	8 この自己評価の結果を、ホームページ等で公開しているか	昨年度より、いずみの園のホームページの「介護サービス情報の公開・福祉サービス第三者評価・苦情受付」の中の「児童発達支援・放課後等デイサービス事業所 マルコ 保護者等からの事業所評価の集計結果と事業所における自己評価結果公表」に公表しています。	6		2
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者による外部評価については今後検討していきたいと思っています。	2		7
	10 職員の資質向上のため、研修の機会を確保しているか	内外部の研修に参加してもらい、参加した職員より勉強会の際に報告・伝達してもらっています。今後も、資質向上に努めていきたいと思います。	9		

適切な支援の提供	11	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	利用開始時と更新の際にアセスメントを行い、個別計画作成の際に活用しています。更に計画に反映できるようアセスメントの内容も検討していきたいと思います。	9		
	12	子どもの状態と支援に対する進捗を把握するために、統一したアセスメントツールを継続的に使用しているか	アセスメントツールはありますが、進捗を把握するツールとしての機能が果たせていないと思われます。今後は進捗把握という視点をもって継続的に使用していきたいと思います。	5		2
	13	活動プログラムの立案を必要に応じてチームもしくは複数名の職員で行っているか	担当職員が立案し関わるスタッフで検討しています。	7		2
	14	子どもが楽しんでプログラムに取り組めるよう工夫しているか	遊び学べるよう1か月分を工夫し、プログラム表を作成しています。	9		
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせているか	個別活動と集団活動を児童の発達や状況に合わせて、個別活動と集団活動の日として実施しています。	8		1
	16	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日の支援内容や役割分担を確認しているか	支援開始前にミーティングを行うようにしていますが、時間差出勤で参加できない職員もいるため、申し送りノートで確認してもらうようにしています。他に、月に1回の支援会議の時に支援内容等確認を行っています。伝達が行き届いていなかったり、受け取り方の解釈に差ができることもあるため、職員間で声かけ・コミュニケーションを大切にしていきたいと思います。	8		1
	17	支援終了後職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	支援終了後にミーティングを行うようにしていますが、時間差出勤で参加できない職員もいるため、申し送りノートで確認してもらうようにしています。他に、月に1回の支援会議の時に支援内容等確認を行っています。伝達が行き届いていなかったり、受け取り方の解釈に差ができることもあるため、職員間で声かけ・コミュニケーションを大切にしていきたいと思います。	4	5	
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	報告や気づいたことは申し送りノートで共有しています。日々の記録は日誌を作成しています。勤務形態で徹底され難しいこともあるので、記録や口頭で確認を行っていくようにしています。	9		
	19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6ヶ月に1回は実施しています。	9		
	20	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	ガイドラインに示されている基本活動を参考に、活動プログラムを作成するようになっています。	5	4	
	21	相談支援事業所の担当者会議にその子どもの状況に精通した最も相応しい者が参画しているか	担当者会議の日程調整の連絡があり参加している。主に、児童発達支援管理責任者が参加しています。	8		1

関係機関や保護者との連携	22	学校との情報共有(行事予定、下校時刻)連絡調整(送迎時の対等等)を適切に行っているか	学校情報は保護者を通じて直接学校へ連絡し情報共有を図っています。	7	2	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	児童発達支援マルコを利用して、そのまま就学する例が2件しかなく、お迎えの際の状況確認や相談支援員を通しての情報交換にとどまっています。今後は利用開始時の支援として相互理解に努めていきたいと思ひます。		9	
	24	学校卒業後に障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	未就学児なのでありません。		6	3
	25	専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	臨床心理士の先生をお招きしての事例検討で必要な助言を頂たり、各研修会に参加しています。	7		1
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	子育て支援センターの定期行事に参加したり、長期休暇は児童クラブとの交流行事に参加をしています。	6	3	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	その日の利用状況等、送迎の際や連絡ノート等で情報共有を行っています。	9		
	28	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、家庭での対応方法などについて助言等の支援を行っているか	保護者の方からご相談があればアドバイスをさせていただきますが、積極的に保護者への対応力向上を図る目的ではできていない状況にあります。今後は、積極的に何を助言すべきか検討していけるよう努力していきたいと思ひます。	9		
29	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援に関する情報提供を行っているか	ペアレントトレーニング等の支援に関する情報提供は行っていない状況です。今後は、情報があれば提供していきたいと思ひます。		2	7	
保護者への	30	運営規程、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	利用開始に伴い、利用契約や重要事項等で支援の指針や内容、利用者負担額や上限額管理等の説明を行っています。	9		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	相談に応じ、必要な助言や支援を行っています。行き届かないこともあるかと思ひます。保護者からの悩み等に細やかに配慮できるように努めていきたいと思ひます。	9		
	32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	今年度より保護者同士の連携が図れるように、保護者交流会を開催させていただきましたが、日時等スケジュールが合わない方が多く、出席される方が少なかったことが課題となっています。どのような形で実施していくか検討していきたいと思ひます。	9		

説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	園内に苦情受付窓口や第三者のによる相談窓口を設置し体制を整備して対応できるようにしています。	8		1
	34	個人情報に十分注意しているか	個人情報に記載されている文書は鍵付きのロッカーで保管し、それら文書の廃棄にはシュレッターを使うなど、個人情報の取扱には注意しています。	9		
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	情報伝達を行っていますが不十分なこともあるかと思えます。利用頻度が少ない方や、保護者からの情報発信がない場合でも、相互コミュニケーションを取れるように配慮や環境づくりをしていきたいと思えます。	9		
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	保護者に対しての周知ができていない状況にあります。今後はモニタリング等の際にご説明していきたいと思えます。。	5		4
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	利用定員が少ないことや避難経路が単純なこともあり、年に2回の訓練の実施となっておりますが、今後は、長期休暇時の利用の多い時期などいろいろな場面を想定して訓練を行ってきたいと思えます。	9		
	38	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	研修会があれば参加し、参加した者を中心として勉強会を実施しています。	8	1	
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援計画に記載しているか	身体拘束の必要性がある利用児童がいない為、そのことを事業所内で議論する機会が少ない現状ですが、虐待防止等の勉強会の際に確認を行っています。	1		8
	40	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食事の提供を行っていないため医師の指示所に基づく対応は行っていないが、おやつ作りや外食体験などがあるため、利用開始に当たりアレルギーの確認と、活動前にはその都度、保護者の方に提供する物について確認作業を行っています。	3	4	2
41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットの報告書を作成し、会議の際に振り返りを行い、今後に向けての再発防止策の確認を行っています。	9			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。